

第4章 その意義

明治初年の言語・文字に関する教育はだいたい以上のようなものでした。従来行われていた寺小屋の「手習」「読書」の教科が、洋学の教科、外国小学校の教科などの影響を受け、それが分れて各種の教科になるとともに、その内容もまたそれぞれに分れていく過程を示しています。言語・文字の教育は、まず、かなづかい・漢字単語の学習から始まって、文に及ぶといった順序が最初の段階として考えられていました。次に読本の段階があり、そこで文章を読むことが成されたのちに、実教科に進むといったぐあい考えられていたことがわかります。もっとも、それぞれの段階における各種の教科書が互に連関を有し、易から難へという組織的編集の行われたものでは決してありませんでしたが（前に見た九鬼隆一の巡視記録の中にも、それに触れて改正を要望しています。）、少なくとも意図自身においてはそうだったといえます。

なお、ここで当時の学習方法との関係について考えますと、いうまでもなく、暗誦^{しょう}がおもなものとされていたわけですから、その点においても、生徒の学習心理や学習能力を無視したものだったといえます。内容において、事項の羅列^ら、辞書的知識の列挙といったものが多かったことは、今までにも見てきたとおりですから、内容と方法の両方の点から性急な知識の注入が行われていた

といえます。しかも、この場合、江戸期の教育と比べると違った意味のものになってきていました。「農業往来」や「商売往来」中の語句は、たとえその当座は役に立たなくても、成人社会の中にはいったときには、直ちに日常通用するものでした。四書五経にしても、当時においては、社会的に要求されていた道德上の規範でした。それが、読本が使用されることになり、「実物」ではなく「模型」が与えられることになります。「此^{この}女兒は人形を持てり、^{なんじ}汝は人形を見しや」といった文章を^{しょう}暗誦することは、江戸期のような暗誦と違い、無意味なものにならざるをえません。基礎的訓練という意味から、この暗誦の方法とはまた別の方法が考えられなければなりません。明治10年(1877)の西村茂樹、九鬼隆一の巡視報告の中にも、この点に関して、ともに触れるところがあります。10年代にはいってから、特に生徒の学習心理に応じた方法が主張され、段階を追った課程、実物教育などの必要を説く開発主義が一般の風潮となるのも、やはり当然のなりゆきでした。

しかし、この学制において、「国語」をまず第一のものとしてとりあげ、それも単に漢字単語だけではなく広い範囲にわたって学習することを規定したのは、それまでの教育に比べて非常な違いであり、進歩であったといわなくてはなりません。13年(1880)には、これらがさらに改訂され、「読書」科として「読方」と「作文」がまとめられ、その後さらに33年(1900)には「国語」科として統一されるに至りますが、その基礎と方向は、学制に定

められていたといえます。学制の意義は大きいものでありました。

人名・書名索引

- 1 書名は1字分下げてしるしてある。
- 2 書名の中には論文名も含む。
- 3 () をつけたものは「はじめに」のページ数を示す。

〔ア〕

阿保友一郎	57
亜米利加合衆国プライメリ ーグランマル学校教則	15, 21, 42
亜米利加合衆国プライメリ ースクール教則	15
ある心の自叙伝	46

〔イ〕

英吉利単語篇	21
英吉利文典	21, 55
育英文範	63
石川彝	44
石塚竜磨	27
逸史題辞	9
伊東玄朴	55
稲垣千穎	30, 45, 51, 52, 54
井上尠	(3), 31
色図	13, 14

〔ウ〕

うひまなび	22, 24
ウイルソンス・プライメリ ・スペルレル	21
ウイルソン読本	46
プリマー (Primer)	46
第一読本	46, 47, 50
第二読本	46, 47, 51
第三読本	46
第四読本	46
第五読本	46
ウエーランド小文典	55
ウェブスター	21
内田晋斎 (嘉一)	63
瓜生寅	44
瓜生政和 (梅亭金鷲)	44

〔エ〕

英語階梯	21
絵入智恵の環	22, 23

〔オ〕

被仰出書	16, 17
太田 氏 会話篇	41
太田随軒	41

大槻修二……………49
 大槻文彦……………60
 往来物…………… 5, 9, 10, 28,
 31, 34
 岡三慶……………63
 岡本黄中……………27, 37, 41
 奥村栄実……………27
 小沢吉人……………49
 小幡篤次郎……………44
 和蘭文典前編……………55, 57, 59
 音義大全解……………27

[カ]

開化のはなし……………19
 海後宗臣……………(3), 32, 49
 改正師範学校小学教授法…64
 貝原益軒……………31
 学問のすゝめ……………12, 17, 44
 雅俗文法……………57
 片山淳之助(福沢諭吉)……………44
 仮名遣奥山路……………27
 金子尙政……………63
 亀谷行……………63
 カロザス……………21

[キ]

木村正辞……………24
 窮理捷徑十二月帖……………63
 窮理問答……………44
 教師必携詳註小学入門……64
 近代教科書の成立 ……(3), 62

[ク]

九鬼隆一…………… 49, 67, 69, 70
 国尽……………6, 9, 10, 29, 31
 → 男国尽
 女国尽
 久保圭次郎……………49
 Grammatica of Neder-
 duitische Spraakkunst…55
 黒川真頼…………… 57, 58
 黒沢翁満……………4, 24
 訓点 和蘭文典……………59

[ケ]

形図……………13
 形体度図……………14
 啓蒙智慧の環……………44
 元明史略…………… 9

[コ]

孝経…………… 9
 皇国文典初学……………57
 広日本文典……………60
 語学自在……………4, 59
 語学指南……………26, 57, 58
 五経……………1, 9, 70
 国語…………… 1
 国語教育学の構想……………38
 国史略…………… 9
 古言衣延弁……………27
 古状揃…………… 9

古事類苑	24
後藤達三	44
言靈のしるべ	4, 24
詞の通ひ路	4
詞の玉橋	58
語学捷径	24, 26
語法指南	60
権田直助	4, 59

[サ]

榊原伊祐	18
榊原芳野	23, 24, 27, 30, 45, 51, 52, 64
左伝	1
佐藤一斎	1
佐藤誠実	26, 57, 58
里見義	57
The Readers of the School & Family Series	46
→ウイilson読本	
三字経	9

[シ]

史記	1
四書	1, 9, 70
実語教	6, 9
十八史略	1, 9
小学	1
小学 一夕譚	27, 37, 41
小学作文軌範	63

小学綴字書	23, 24
小学綴字翼	23, 24
小学読本	13, 38, 43, 45, 46, 47, 48, 51 53, 55
小学読本	24, 27, 30, 31, 32, 33, 34, 45, 48, 51, 52, 54
小学読本編纂史	(3), 31
小学日本文典	57, 58
小学入門	25, 26, 33, 34, 43, 45, 62, 64
消息往来	5, 63
→男消息往来	
→女消息往来	
商売往来	5, 9, 70
初学課業次第	1
書牘	63
新撰字書	49
人体図	14

[ス]

鈴木重胤	24, 26
------	--------

[セ]

西洋衣食住	44
西洋事情	44
西洋新書	44
西洋夜話	44
世界商売往来	29, 33
線図	13, 14

[タ]

体図……………13
 大統歌…………… 9
 高橋敬十郎……………63
 田中大介（義廉）……………44
 田中義廉……………38, 43, 44, 45,
 48, 51, 53, 55,
 57, 58
 ダビッド=モルレー……………17
 玉かつま…………… 3
 単語図…………… 13, 14, 25,
 26, 28, 33, 62, 64
 単語図書取指南……………27
 単語篇……………10, 28, 29, 30,
 31, 32, 34, 39,
 62
 男女 江戸方角…………… 9
 男女 国尽…………… 9
 → 国尽
 男女 消息往来…………… 9
 → 消息往来
 男女 庭訓往来…………… 9

〔チ〕

ちよのいとぐち……………22, 23, 24
 地方往来……………29
 地理初歩……………13

〔ツ〕

辻弘想……………19
 綴字書（ウェブスター）…21
 坪井信道……………55

〔テ〕

寺田寅彦…………… 3
 天然 道理図解……………44
 人造
 天変地異……………44

〔ト〕

東京土産……………19
 童子教…………… 6, 9
 童子訓…………… 9
 頭書類語小学作文五百題…63
 童蒙必読……………28, 29, 31
 富樫広蔭……………58

〔ナ〕

仲新……………(3), 48, 62
 那珂通高……………30, 45, 48, 51, 52
 名頭（字） ……6, 9, 10, 29, 31
 中根淑……………57

〔ニ〕

西尾実……………38
 西瀉訥…………… 39, 41
 西村茂樹…………… 67, 70
 日本小文典……………57
 日本史略……………14
 日本地誌要略……………14
 日本地誌略……………13
 日本文章法大意……………58
 日本文典……………57
 日本略史……………14

[ノ]

農業往来…………… 29, 70

[ハ]

梅亭金鷲(瓜生政和)……………44

橋爪貫一…………… 29, 33

長谷川如是閑……………46

万国指掌……………14

万国史略……………14

万国地誌略……………14

[ヒ]

土方幸勝……………64

百官名…………… 9

百姓往来…………… 5

[フ]

福翁自伝…………… 2

福沢諭吉(片山淳之助)… 2, 12,
17, 35, 44, 49, 64

富士谷成章……………58

物理訓蒙……………44

古川正雄……………23

文典初歩……………57

[ホ]

堀秀成……………27

誉田巳之橋…………… 9

本朝文範……………54

[マ]

Marcus Willson ……………46

Maatschappij ……………55

松岡太愿……………54

[ミ]

箕作阮甫……………55

苗字尽…………… 6, 9

[メ]

明治初年の漢字初歩教育……
(3), 32, 49

[モ]

物集高見……………24

本居宣長……………3, 58

本居春庭…………… 4

元田直……………19

モルレー申報……………17

文字之教……………35, 36, 37, 38,
49, 64

文部省雑誌……………39

文部省年報……………48

一第四年報…………… 49, 67

[ヤ]

安井乙熊……………63

柳河春蔭(春三) ……………22

山田孝雄……………60

[コ]

吉田賢輔	44
寄合ばなし	18

[レ]

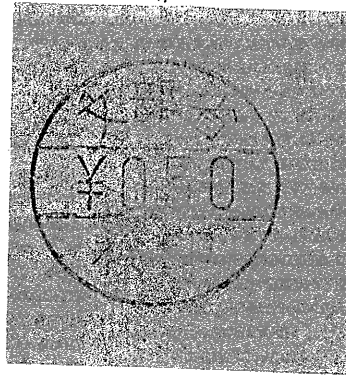
連語図	13, 34, 38, 62, 64
-----	-----------------------

[ワ]

和俗童子訓	31
和文読本	54

国語シリーズ No. 36

教科書から見た明治初期の言語・文字の教育



MEJ 4139

昭和32年9月15日印刷

昭和32年9月20日発行

著作権所有

文 部 省

発 行 者

東京都千代田区神田小川町1の1

竹 田 光 二

印 刷 者

名古屋市昭和区白金町2の8

竹田印刷株式会社

代表者 竹 田 光 二

発 行 所

光風出版株式会社

東京都千代田区神田小川町1の1

電話(23)2880・振替東京162599

名古屋市昭和区白金町2の8

電話(8)2586・振替名古屋38253

定 価 5 0 円